|  |  |
| --- | --- |
| 要件名 | AnnotationTool |
| 設計書名 | 機能仕様書 |
| 作成者 | 加藤弘晃 |
| 作成日 | 2021/05/20 |
| 更新履歴 | 第1.2版 |

AnnotationTool  
  
機能仕様書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| バージョン | 作成・更新日 | 改版理由 | 担当 |
| 1.0 | 2021/05/20 | 第1版作成 | 加藤弘晃 |
| 1.1 | 2021/05/20 | バージョン1.0レビュー指摘対応 | 加藤弘晃 |
| 1.2 | 2021/05/21 | バージョン1.1レビュー指摘対応 | 加藤弘晃 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

目次

[1. 初めに 4](#_Toc72412244)

[2. 機能概要 5](#_Toc72412245)

[3. システム環境 6](#_Toc72412248)

**エラー! ハイパーリンクの参照に誤りがあります。エラー! ハイパーリンクの参照に誤りがあります。**

# 初めに AnnotationToolとは、あるデータに対して関連する情報（メタデータ）を付与するツールです。 このシステムでは画像データの選択した領域に対してタグ付けを行い、機械学習の教師データとして使用することを目的とします。

# 帽子を被っている女性 自動的に生成された説明カーソル機能概要 開いたフォルダー イメージ



x, y

x2, y2

img1.jpg  
img2.jpg  
img3.jpg  
img4.jpg

tag1  
tag2

現在開いているディレクトリ名

**システム概要図**

OpenFile

OpenDirectory



img1.jpg,tag1,x,y,x2,y2

拡大画像

**機能仕様**

|  |  |
| --- | --- |
| ファイル入力機能 | 画像単体またはディレクトリ指定でディレクトリ内のファイル一覧を処理 対応する画像の形式は、「.jpg」「.png」 |
| CSVファイル読み込み機能 | ファイル出力機能で保存したCSVファイルを読み込み同一のファイルを開くと既存の領域が表示される |
| 画像表示機能 | 領域指定を行う画像を表示する 別の領域にマウスポインタ周りの拡大画像が表示されている 次、前矢印、または画像一覧から画像の切り替えが可能 前または次の画像がなければ対応する矢印は押下できなくなる |
| タグ付け機能 | 画像上の領域をドラッグアンドドロップ指定し、タグ付けを行う 1領域につき、複数のタグ付けが行える  タグ一覧を左クリックで選択（複数選択可能）、右クリックで選択解除とする 最初は手入力でタグを追加するが、一度追加したタグは保存されており、次からは自動で表示される タグは削除も可能 領域は複数指定可能  領域をクリックして、選択し右クリックで領域を削除する |
| ファイル出力機能 | タグ付けしたすべての情報を1つのcsvファイルとして出力する 画像一枚のタグ付けが終わるたびに逐一ファイルに書き出す フォーマットは以下 画像名,分類名,x座標,y座標,x2座標,y2座標 |



|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| OS | Windows10 Pro | 20H2 |
| 開発言語 | Node.js | v14.15.4 |
| パッケージ管理ツール | npm | v6.14.10 |
| タスクランナー | npm | v6.14.10 |
| 使用ライブラリ | Electron | v12.0.8 |
| ブラウザ | Chromium | v89.0.4389.128 |
| パッケージングツール | electron-packager | v15.2.0 |
| UTテストライブラリ | karma | v6.3.2 |
| UTテストライブラリ | mocha | v8.4.0 |
| UTテストライブラリ | karma-chai | v0.1.0 |
| e2eテストライブラリ | Spectron | v14.0.0 |

# システム開発環境